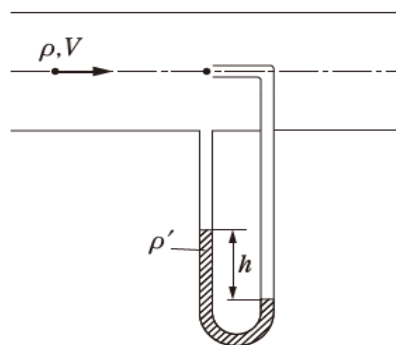


試験名	大学卒程度(機械)
区分	専門試験

〔例題1〕 図のように、直管内の空気の流速をピトー管で測定したところ、アルコールを入れたマンオメータの液柱の読みが $h = 60\text{mm}$ であった。流速 V はいくらか。

ただし、空気の密度 $\rho = 1.2\text{kg/m}^3$ 、アルコールの密度 $\rho' = 900\text{kg/m}^3$ で、流れの損失はないものとする。また、重力加速度の大きさは $g = 10\text{m/s}^2$ とする。



1. 12m/s
2. 16m/s
3. 24m/s
4. 30m/s
5. 40m/s

試験名	大学卒程度(機械)
区分	専門試験

〔例題2〕ある理想気体が、5 MPa の圧力で 10 m^3 の体積を占めており、このときの温度は 100°C であった。圧力を10 MPa、温度を 50°C にすると体積は、はじめの状態からどれだけ減少するか。

1. 2.5 m^3
2. 3.1 m^3
3. 4.3 m^3
4. 5.7 m^3
5. 7.5 m^3